

## 鹿児島ブロックの災害支援協力連絡会の議事録について

日 時：平成30年5月31日AM10:00～PM12:00

開催場所：鹿児島地域振興局 5階会議室

出席者：別途資料『災害支援協力連絡会』参照

立元建設部長あいさつ要旨

- ・土木行政対応に対するお礼
- ・大島支庁在任時での災害協力の状況説明とお礼
- ・協力をお願い

安永会長（測量設計業協会）あいさつ要旨

- ・協会の業務に対する、ご理解へのお礼
- ・災害に対し38社を3班に分割し、取り組んでいる。
- ・災害対応講習会を毎年開催しており、今年度は、722名参加。  
（受講終了者のみ身分証明書・腕章を配布している。）

※ 以下に、【意見交換に関する記事内容】を示します。

（県事務局）

- ・公共土木施設等の状況や防災計画と支援協力の範囲及び被害状況調査内容についての説明

（協会連絡責任者）

- ・応援支援協力に関する連絡体系
- ・災害箇所調査時に携帯する身分証明書・腕章・『鹿児島県測量設計業協会』のネーム入りトラチョッキ着用の説明

【意見交換に関する記事内容】を示します。

（立元部長）

- ・大規模災害箇所でのドローン等の活用は、出来ないか？

（安永会長）

- ・ドローンの活用は十分に考えられるが、現地への乗り入れ、飛行時間等の制約を考慮し協会としては、活用をして行きたい。

（馬場園河川砂防第一係長）

- ・震度3以上の地震発生時、急傾斜施設の全箇所点検を行う事になっているが、協会の方では、協力が出来るものか？

（安永会長）

- ・協力するが、箇所数が多いので、全箇所調査は困難ではないだろうか。

（立元部長）

- ・災害発生箇所情報提供については、建設会社等も災害対応しているので活用して行く。特に、港湾施設等。

（立元部長）

- ・設計に於いて過大な設計が見受けられる。

（安永会長）

- ・県担当者との協議で設計していると思いますが、今後は、気を付けて設計するように心掛けます。

（立元部長）

- ・災害時は、各担当も情報が錯綜し指示系統が、徹底出来ない場合があるので、責任者の一体化が必要である。

以上